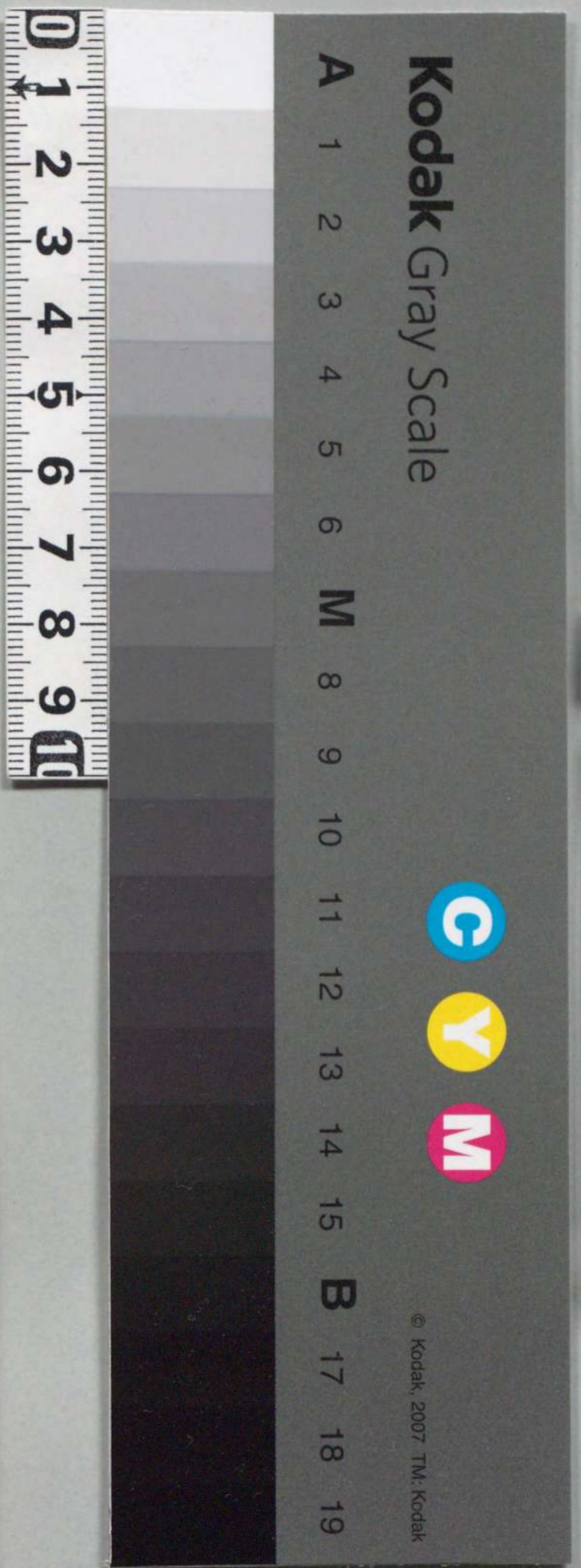
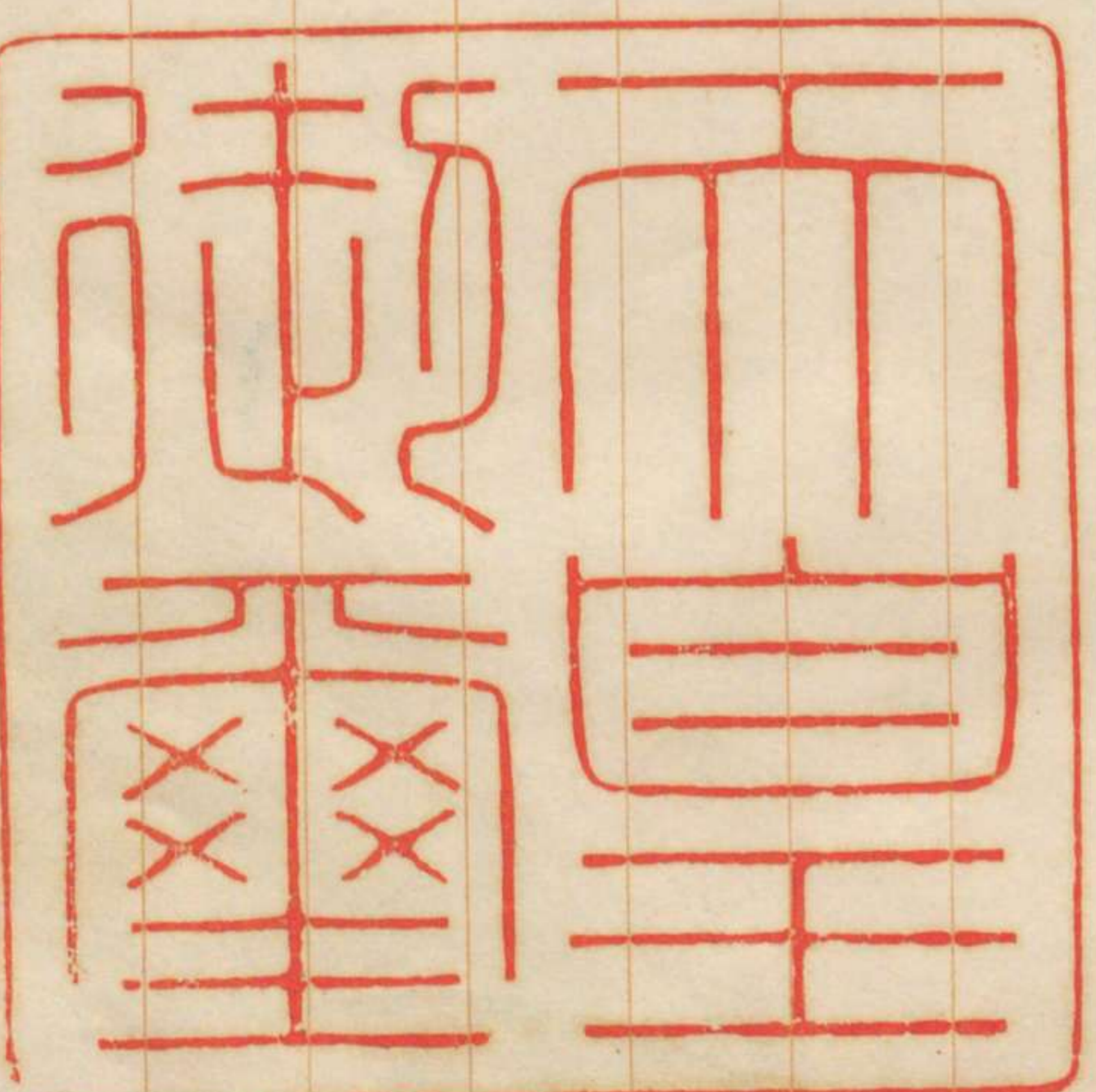


物今身三万五千七百



朕憲兵條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

睦仁



明治三十年九月廿二日

月

内閣總理大臣伯爵 松方正義
海軍大臣侯爵 西郷從道
陸軍大臣子爵 島勲
内務大臣伯爵 樺山資紀
司法大臣 清浦奎吾

勅令第三百三十二號
憲兵條例

第一章 總則

第一條 憲兵ハ陸軍兵ノ一ニシテ陸軍大臣ノ管轄ニ属シ軍事警察行政警察司法警察ヲ掌ル其ノ戰時若ハ事變ニ際シ特ニ要スル服務ノ規程ハ別ニ之ヲ定ム

第二條 憲兵ノ職掌軍事警察ニ係ルモノハ陸軍大臣及海軍大臣ニ隸シ行政

警察ニ係ルモノハ内務大臣ニ隸シ司法警察ニ係ルモノハ司法大臣ニ隸ス但シ臺灣ノ軍事警察行政警察司法警察ニ係ルモノハ臺灣總督ニ隸ス

第三條 憲兵ハ行政警察司法警察ニ係ル事件ニ付警視總監北海道廳長官府縣知事^兼府知及檢事ノ指示ヲ承ク但シ臺灣ニ在テハ行政警察司法警察ニ係ル事件ニ付テハ縣知事廳長及法院檢察官ノ指示ヲ承ク其ノ他地方ノ

守備ニ付テハ旅團長要塞司令官又ハ守備隊長ノ指揮ヲ承クヘキモノトス
第四條 憲兵ハ其ノ職務上ニ関シ正當ノ職權ヲ有スル者ヨリ要求アルトキハ直ニ之ニ應スヘシ

第五條 憲兵ハ左ニ記載スル場合ニアラサレハ兵器ヲ用ウルコトヲ得ス
一 暴行ヲ受クルトキ
二 其ノ占守スル土地若ハ委託セラレタル場所又ハ人ヲ防衛スルニ

兵力ヲ用ウルノ外他ニ手段ナキ
トキ又兵力ヲ以テセサレハ抗抵
ニ勝ツ能ハサルトキ

第六條 第一乃至第七憲兵管区内ニ在
テハ必要ノ場合ニ際シ内務大臣陸軍
大臣協議シテ憲兵ヲ一時彼此其ノ管
區外ニ分派スルコトヲ得
臺灣ニ在テハ臺灣總督ニ於テ必要ト
認ムルトキハ憲兵ヲ其ノ管區外ニ使
用スルコトヲ得

第二章 配置編制

第七條 東京ニ憲兵司令部ヲ置キ各管
區ニ憲兵隊ヲ配置ス

憲兵隊ニハ其ノ管區ノ番號ヲ附ス
憲兵管區ハ別表ニ依ル

第八條 各府縣廳所在地及北海道臺灣
樞要ノ地ニ漸次憲兵分隊ヲ置ク其ノ
管轄區域ヲ憲兵警察區トス但シ臺灣
ニ在テハ必要ニ應シ憲兵分隊ノ一部
ヲ分駐セシメ其ノ管轄區域ヲ憲兵警

察區ト為スコトヲ得

憲兵分隊ニハ府縣ノ名北海道ニ在テ北分隊首部在所地ヲ冠ス但シ臺灣ニ在テハ番號ヲ

附ス

第九條 憲兵警察區ヲ數箇ノ憲兵巡察區ニ分割シ各巡察區ニ憲兵一伍若ハ數伍ヲ配置ス

第十條 憲兵警察區ノ區域ハ府縣ハ其ノ區域ニ從ヒ北海道ニ在テハ陸軍大臣、内務大臣協議シテ之ヲ定メ憲兵巡

察區ハ憲兵隊長ヨリ警視總監北海道廳長官、府縣知事東京府知事ヲ除クニ協議シテ之ヲ定ム

臺灣ニ在テハ憲兵警察區ハ臺灣總督之ヲ定メ憲兵巡察區ハ憲兵隊長之ヲ定ム

第十一條 憲兵司令部ノ職員左ノ如シ
憲兵司令官 少將若ハ憲兵大佐
副官 憲兵少佐、憲兵大、中尉
軍吏

書記

憲兵下士軍吏部下士若八属

第十二條

憲兵隊憲兵八隊ヲ至第十ノ職員

左ノ如シ

本部

隊長

憲兵中少佐

副官

憲兵大中尉

軍吏

下副官(准士官)

憲兵曹長

書記

憲兵下士軍吏部下士

分隊

分隊長

憲兵大中尉

分隊副長

憲兵中尉

書記

憲兵下士

上等伍長(准士官)

憲兵曹長

伍長

憲兵上等兵

分隊副長及上等伍長ハ之ヲ置カサル

コトヲ得

第十三條 第八乃至第十憲兵隊ノ職員

左ノ如シ

本部

隊長

憲兵大中佐

副官

憲兵大中尉

軍醫

獸醫

軍吏

下副官(准士官)

憲兵曹長

書記

憲兵下士、軍吏部下士

蹄鐵工長若八蹄鐵工下長

看護長

分隊

分隊

憲兵大尉

分隊副

憲兵中尉

軍醫

上等伍長

官(憲兵曹長)

伍長

憲兵下士

書記

憲兵上等

看護長

第十四條 憲兵上等兵五名乃至十二名



本部

隊長

副官

軍醫

獸醫

軍吏

下副官(准士官)

書記

蹄鐵工

看護長

憲兵大中佐

憲兵大中尉

憲兵曹長

憲兵下士、軍吏部下士

工下長

分隊

分隊長

分隊副長

軍醫

上等伍長(准士官)

伍長

書記

憲兵上等兵

看護長

憲兵大尉

憲兵中尉

憲兵曹長

憲兵下士

第十四條 憲兵上等兵五名乃至十二名

ヲ以テ一伍トシ數伍ヲ以テ一分隊トシ數分隊ヲ以テ一隊ト為ス
必要ニ依リ伍ニ乘馬ヲ附シ又臺灣ニ在テハ伍ニ伍長ヲ增加ス

第三章 職務

第十五條 憲兵司令官ハ全國ノ憲兵隊ヲ統轄シ司令部ノ事務ヲ總理ス

第十六條 憲兵司令官非常若ハ緊要ノ事件アルコトヲ知リタルトキハ速ニ内務大臣、陸軍大臣、海軍大臣、司法大臣

ニ申報スヘシ

第十七條 憲兵司令官ハ軍紀、風紀、訓練、教育及職務履行ノ程度ヲ檢閲スル為メ必要ト認ムル時機ニ於テ各憲兵隊ヲ巡視シ其ノ景況ヲ陸軍大臣ニ申報スヘシ

第十八條 憲兵隊長ハ各分隊ヲ統轄シ其ノ勤務方法ヲ指定シ隊中ノ事務ヲ總理ス

第十九條 憲兵隊長ハ管區内ノ情勢ヲ

審ニシ非常若ハ緊要ノ事件アルコト
ヲ知リタルトキハ速ニ憲兵司令官ニ
申報シ且其ノ事件ノ必要ニ依リ衛戍
司令官要塞司令官警備隊司令官鎮守
府司令官長官要港部司令官北海道廳長
官及管轄控訴院檢察長ニ申報シ臺灣
ニ在テハ臺灣總督及憲兵司令官ニ申
報シ且其ノ事件ノ必要ニ依リ旅團長
要塞司令官法院檢察官ニ申報シ隣接
憲兵隊長ニ通報スヘシ

第二十條 憲兵分隊長ハ部下ヲ指揮監
督シ其ノ勤務方法ヲ指定シ分隊ノ事
務ヲ處理ス又警察區内ノ情勢ヲ審ニ
シ非常若ハ緊要ノ事件アルコトヲ知
リタルトキハ警視總監府縣知事棟涼
及管轄地方裁判所檢事正及憲兵
隊長ニ申報シ且其ノ事件ノ必要ニ依
リ直ニ衛戍司令官要塞司令官警備隊
司令官鎮守府司令官長官要港部司令官
ニ申報シ臺灣ニ在テハ縣知事廳長法

院檢察官及憲兵隊長ニ申報シ且其ノ
事件ノ必要ニ依リ直ニ守備隊長ニ申
報シ又隣接分隊長ニ通報スヘシ

第二十一條 憲兵分隊長ハ常ニ警部長
警視其ノ他ノ警察署長及隣接分隊長
ト交互謀報シ其ノ地方ノ情况ヲ知悉
スヘシ

第二十二條 憲兵分隊副長ハ分隊ノ一
部ヲ指揮ス其ノ職掌分隊長ニ亞ク
臺灣ニ在テハ憲兵分隊副長一ノ警察

區ニ分駐ヲ命セラレタルトキハ分隊
長ト同一ノ職務ニ服ス但シ其ノ分隊
長ノ統轄ヲ離ルルコトナシ

第二十三條 憲兵上等伍長及伍長ハ憲
兵上等兵ノ勤務ヲ指示監督シ且巡察
區内ヲ巡視シ其ノ事情ヲ知悉スヘシ
又必要ノ事件ハ其ノ地方ノ警察官ト
相互謀報スヘシ

第二十四條 憲兵上等兵ハ常ニ巡察區
内ヲ巡察シ其ノ事情ヲ審ニスヘシ

第二十五條 憲兵ノ勤務諸報告等ニ係
ル細則ハ各主管大臣之ヲ定ム但シ臺
灣ニ在テハ臺灣總督之ヲ定ム

附則

第二十六條 當分ノ内憲兵少尉ヲ以テ
分隊長若ハ分隊副長ノ職ニ充ツルコ
トヲ得但シ臺灣ニ在テハ中尉ヲ以テ
分隊長少尉ヲ以テ分隊副長ノ職ニ充
ツルコトヲ得

第二十七條 當分ノ内憲兵隊長副官分

隊長分隊副長ハ豫備役後備役ノ者ヲ
以テ充ツルコトヲ得其ノ身分取扱ハ
召集中ノ者ニ同シ

第二十八條 臺灣憲兵隊條例ハ本令施
行ノ日ヨリ廢止ス

(別表) 憲兵管區表

管區名	區	域
第一管區	東京府 栃木縣	神奈川縣 長野縣 群馬縣 埼玉縣 千葉縣 山梨縣 茨城縣
第二管區	宮城縣 山形縣	新潟縣 青森縣 秋田縣 福嶋縣 巖手縣
第三管區	愛知縣 福井縣	石川縣 三重縣 富山縣 静岡縣 岐阜縣
第四管區	大阪府 奈良縣	京都府 兵庫縣 和歌山縣 滋賀縣 岡山縣
第五管區	廣嶋縣 德嶋縣	愛媛縣 山口縣 高知縣 嶋根縣 香川縣
第六管區	熊本縣 大分縣	長崎縣 沖繩縣 福岡縣 鹿兒島縣 宮崎縣 佐賀縣
第七管區	北海道	
第八管區	臺灣	臺灣守備混成第二旅團守備管區
第九管區	臺灣	臺灣守備混成第一旅團守備管區
第十管區	臺灣	臺灣守備混成第三旅團守備管區

